



2003年07月14日

フォルクスワーゲン ルポ GTI カップ ジャパン2003第3戦(鈴鹿)リザルト 3戦目で坂本選手が初チャンピオン

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、JAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイクレース、"フォルクスワーゲン ルポ GTI カップジャパン 2003"(以下:LCJ)の第3戦が、7月5日(土)6日(日)、断続的に雨が降る難しいコンディションの中、鈴鹿サーキット(所在地:三重県鈴鹿市)にて開催されました。

フォルクスワーゲン グループ ジャパンは現在「ブランドの変革」を推進しており、LCJによってその若々しく革新的かつダイナミックなブランドをサーキットからも発信していくことを目的としております。

LCJは2カテゴリー制(初心者向けの「クラブマン」と、上級者の「エキスパート」)で実施。1周約5.8kmの国際レーシングコースを8ラップする約46kmのレースとして行われました。昨年のニュービートルカップ グランドチャンピオンで今回のレースの覇者である坂本選手(Team DUO Lupo)は、予選を2位で通過。決勝では1周目に予選トップの壺林選手(CRT Lupo GTI)をパスするとじりじりと後続との間を離れていき、3戦目にしてついに優勝を飾りました。

一方、「クラブマン」クラスは、初戦6位、2戦目2位と頭角を表して来た増淵選手(ルポ i-MAGIC&afimp)が見事優勝を飾り、総合順位でも3位に入るという大健闘を果たしました。尚、レース中のベストタイムは坂本選手(Team DUO Lupo)の2'55.845でした。

第3戦を終了した時点でのシリーズポイントトップは「エキスパート」クラスで坂本選手が67P。壺林選手が6P差で続いております。「クラブマン」クラスでは、岩本選手と小野(勝)選手がそれぞれ35Pで現時点でのトップとなっております。

第4戦は美祿サーキット(山口県美祿市)にて、8月24日(日:予選、決勝)に開催されます。

第3戦:決勝公式結果

決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間	決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間
1	Ex-2	67	坂本祐也 Team DUO Lupo	23'43.957	6	Ex-3	25	平松宏隆 サーラレーシング	24'23.750
2	Ex-1	61	壺林貴也 CRT Lupo GTI	23'58.758	7	Ex-4	5	山田弘毅 ティーパーRT_Lupo GTI	24'24.209
3	Cl-2	33	増淵栄男 ルポ i-MAGIC&afimp	24'13.146	8	Cl-5	8	小野泰治 LVレーシング・ルポ	24'32.096
4	Ex-5	47	梅津則子 ピースクルー	24'13.490	9	Cl-6	2	岩本匡史 フォルクスワーゲン成城GTI	24'52.978
5	Cl-4	35	小野勝明 ダイドーミウ→千葉オノストア	24'14.508	10	Cl-10	2	山田秀明 グリオズガレージ プリーズルポ	25'45.030

VOLKSWAGEN *Racing*

ADVAN

Castrol

SCHROTH RACING

VOLKSWAGEN Japan

SACHS

BEL-OF

CHOROQ

Lufthansa

JTB

HEAD

twentyfour seven

NESCAFÉ

COX

NPSM

NEW PACIFIC SPORTS MARKETING INC.

VOLKSWAGEN Tokyo